

第2学年生活科 「坂出のステキ見い付けた！」

～とび出せ！町のたんけんたい～

学習指導者 増田 洗一

単元の概要・子供と共有した目標 自らの目標に向かう姿

学校の周りを探検し、ステキを見付け紹介し合った子供たちは、もっとステキを見付けようと範囲を広げて、坂出のまちを探検したいという思いを高め、「坂出ステキマップを作って、家族にステキ No. 1を紹介しよう」という活動のゴールを設定した。ゴールに向けて、様々な場所を探検し、見付けたステキを紹介し合う中で、地域の人・もの・ことよさに気づき、地域への親しみを高めていった。

見通し 問題を発見して、課題を設定する姿

写真を基に前時を振り返り、本時は見付けたステキをマップにまとめ、友達に紹介したいという思いを表出させ、本時の課題を明確にした。学習計画表を基にゴールを確認し、課題解決の有用性を感じられるようにした。

前回の町探検の写真や学習計画表を基に、ゴールに向けて、本時の課題解決への意欲を高めている姿が見られた。

見付けたステキを友達と紹介したいな。



見付けたステキをマップにまとめて、友達に紹介しよう

行動 諦めずに試行錯誤する姿

同じステキを選んだ人同士で、自然、もの、人の3観点で記述した理由カードと写真を整理する時間を設定した。早く終わった際は、同じコースでも違うものを選んだ友達と紹介したい理由を交流するよう促した。その後、他のコースを探検した友達と、ステキやその理由を自由に交流する時間を設定した。交流する際には、新しいものを見付けることと自分のステキ No. 1を決めるヒントを見付けるという目的を共有して、交流を行った。

角山からの景色は、自然がいっぱいでステキだったね。ぼくらの学校も見えたよ。

自然もあるし、ステキな景色が見れる場所でもあるね。同じ理由は一緒に貼ろう。

交流することで、新しいステキやその理由を知ったり、自分と友達のステキを比べて、自分が見付けたステキのよさを再確認したりして、進んで意見を交流する姿が見られた。

どんなステキを見付けたか教えて。



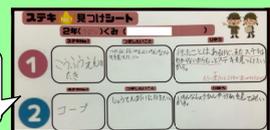
振り返り 自らの学びを正確に捉える姿・問題を発見して、課題を設定する姿

これまでの活動を通して、今の自分のステキ No. 1が何かを記述する場を設定した。その後、「次にしたいことを見付けるにはどうしたらよいか」と問い、「**ゴールに向けて今、作っているものを見直す**」という方法を想起できるようにした。モニターに手順を提示し、単元のゴールや次時3回目の町探検に行くことを確認した後、4コースのマップを合体し、マップを全員で見直す場を設定することで、方法の良さを感じやすくなった。

これまで見付けたステキが集まった坂出ステキマップを参考にしながら、まだ行っていない場所や友達が見付けたステキなどを探すことで、次の町探検で行きたい場所を見付ける姿が見られた。

たくさんステキが集まってきたね。まだ僕が行ってない場所はどこかな。友達が見付けたステキも確かめたいな。

次の探検で、商店街に行きたいな。いろんな商品を見てみたいからだよ。



考察 (○：成果、▲：課題)

- ステキの理由を、自然、もの、人の3観点で示すことで、自分が見付けたステキを具体的に想起しやすく、自分の生活との関わりに気づきやすい支援となった。
- マップに全員のステキをまとめることで、坂出のステキが集まり、まちの良さに気づきやすくなった。
- ▲ 交流の目的をステキNo. 1を決めるためではなく、次の探検で行きたい場所を見付けるためとした方が、子供の意識の流れに合っていた。その方が友達のステキを聞く意欲につながった。

